



## 2) 気機の失調

### (1) 気滞

：気滞とは人体のある部分、或いはある臓腑・経絡の気機が阻滞した状態を指す。

#### [原因]

1. 七情 → 気機の乱れ (第 18 講参照)
2. 六淫：特に [寒邪]・・・(凝滞性・収引性) を持つ  
[寒邪]・・・(粘滞性) を持つ
3. 飲食不節：食べ過ぎ → 食滞 → 水穀が滞れば気も滞る
4. 痰飲・瘀血などによる経絡の阻害
5. 疏泄、宣降等臓腑機能の低下

#### [症状]

- \* 脹痛、張り・・・・・・・・(経絡の気の運行が滞ったため)
- \* 情緒により症状が変化 

}	良好 → 気の流れが良くなる → 症状が緩和・消失
	不良 → 気の流れが更に悪くなる → 症状悪化
- \* 太息(ため息)が多い  
  噯気(げっぷ)、失気(おなら)で症状緩和 } 若干気が動くため

### (2) 気逆

：種々の原因により気機昇降失調が生じ気機上逆が現れた状態。

#### [原因]

：原因は気滞に準じ、或いは気滞が基礎となりそこから発展し生じる。

#### [症状]

：臨床上、[肺気上逆]、[胃気上逆]、[肝気上逆]が最もよく見られる。

- \* 肺気上逆 (宣発が亢進、肅降が低下)  
  → [咳嗽、気喘]
- \* 胃気上逆 (降濁が失調し上逆)  
  → [悪心嘔吐、噯気、呃逆(げっぷ)]
- \* 肝気上逆 (肝経に沿って気が上逆)  
  → [頭痛、眩暈、吐血、昏厥(突然倒れ人事不省)]